

令和5年度 自己評価校内委員会

令和5年9月28日（木）13:00～15:00実施

令和4年度の自己評価校内委員会を開催し教職員総意の元、評価を以下の通り実施した。

・自己評価委員：学校長他全教職員

4, 適切に対応 3, ほぼ適切 2, やや不適切 1, 不適切

(1) 教育方針

評価概要	評定	評価
① 教育理念・方針・目標がしっかりと定められているか	3.71	教育目標をさらに詳しく記載した。目標達成のための具体案を出し、目に見える形で評価を行えるようにした。学生の様子を見ながらさらに、具体案を出し、目標達成できるようにしたい。
② 教職員・学生に周知されているか	3.57	教職員へは教務会議にて、学生へはオリエンの際に周知し、朝礼で唱和も行っている。ホームルームでも学生に周知するように心がけている。
③ 輩出すべき人材像に沿っているか	3.14	人物像については、教務会議等であがった意見を検討し、さらに人材像に近づけるように教育目標やその具体案を検討していく必要がある。

【課題】

- ・教育方針は明確になってきたが、さらに、具体案を再度検討し、専門学校生として理想的な人物像、そして、就職へと学生を導いていけるよう明確な目標をさらにしっかり伝えていく。

【改善案】

- ・年2回の教務会議以外に、各教科における会議を持ち、学生の意識そして学力向上のために話し合う機会を増やす。周知の時期やスパン、議題についてはさらに検討する必要がある。

【特記事項】

- ・昨年度の意見をもとに、更に詳しい教育目標に変え、学生が理解し目標とできるもの、先生方も学生への指導がしやすいように目標を明確にしたつもりであったが、不十分な点を再検討し教職員全体への周知を徹底していく必要がある。

(2) 学校運営

評価概要	評定	評価
① 学校として進むべき方向、ビジョンは策定されているか	3.57	教育目標は改善し以前より明確になったが、人間性の部分において育てたい学生像がまだしっかり定められていない。
② 学校全体で共通の意思決定を共有することで、運営を実践しているか	3.14	週次ミーティングを設けることで以前より相談、共有、意思決定がしやすくなった。まだ情報共有の面で、常勤、非常勤講師が連絡不足のところがある。
③ 適切な改善は行われているか	3.14	話し合いの場は増えてきているが、学校全体に、連絡、報告ができていない。連絡ノートなどを活用し、全体に周知できるような手段をうまく使用していくべきだ。

【課題】

- ・「学校全体としてのビジョン」という意識が薄く、まだまだ全体として、報告・連絡・相談の体制に改善の余地がある。

【改善案】

- ・1週間に1回、必ず週次ミーティングを行い、どんな些細な事でも共有していく必要がある。それぞれ講師の目的意識を確認し、報告・連絡・相談を徹底する。そして、団結して問題を解決していく必要がある。
- ・非常勤講師からの助言や困り等も聞く場も作り、学校全体で、問題解決に力を入れる。

(3) 教育活動

評価概要	評定	評価
① 教育課程を編成する体制は、整えられているか	3.71	教務会議やカリキュラム編成委員会を開催し、現場で活躍する方からの意見や教職員の意見を取り入れている。学校側から一方的に指針を出すだけでなく、非常勤講師を含め教職員の意見や自主性も受け入れる姿勢で体制を整えるよう意識している。
② 時勢に沿ったカリキュラムの改変は行われているか	3.57	教務会議、カリキュラム編成委員会、学校評価委員会、インターンシップ等を通して、時勢に沿ったカリキュラムや学生に必要な内容になるよう都度検討し、改変を行っている。そのためにも現場の方と関わる機会や意見交換の場をさらに増やしていきたい。
③ 授業評価を適切に行っているか	3.57	学生に授業評価アンケートをとり、その結果を各講師へ渡している。今後は過去のデータとの比較や、評価を受けて改善すべき点等を相談し共有する機会を設け、授業改善へ役立てたい。

【課題】

- ・個人に委ねられている教科や講師の専門外の科目に関して、担当講師によるバラつきが懸念されるため、指針を明確に示すとともに、必要に応じて情報共有、相談する体制を整える。

【改善案】

- ・授業評価アンケート内容については、変更や追加部分が必要であれば変えていく。評価を次へ活かし授業の質を向上させるよう、非常勤講師も含め結果を共有、相談する機会を設ける。

(4) 学習成果

評価概要	評定	評価
① 資格取得の目標は定められているか	3.29	目標はかなり具体的に設定されているが、資格取得への意欲が低い発言や達成できていない様子も見られるため、目標達成に向けての指導の在り方を今後も検討していく。
② 就職率は向上しているか	3.00	日本人に関しては向上しただけでなく、別の業種への就職ではなくブライダル・ホテル業界への就職率も昨年度に比べ上がっている。留学生に関しては求人案内や就職活動がこれから本格的になるため、今後に期待している。
③ 卒業生の離職率に関し、卒業生並びに就職先との連絡を密に取っているか	2.83	以前に比べ、卒業生が訪問してくる機会が増えた。企業訪問の際などに卒業生の様子を訊いているが、もっと連絡を密にしていける必要がある。卒業生とも今後はコミュニケーションをとる機会を増やしていく。

【課題】

- ・検定試験の合格率をあげる。
- ・日本語能力との兼ね合いを考えながら、留学生が語学以外の資格取得を目指すことができないか検討する。
- ・卒業生の状況把握を企業訪問や同窓会などの機会に行う。
- ・この数年間でキャリア担当が次々変わったこともあり、企業との繋がりが消えないように、就職先やインターン受け入れ先にも今後連絡をより密にする。

【改善案】

- ・取得や合格を目指すべき資格、検定やその受験級の見直し。
- ・日本人の就活の様子を留学生が知ることで、取り掛かりのタイミングや方法を学び、就職活動への意欲を高める。

【特記事項】

- ・離職率の調査を行うべき。企業との連携ももう少し図るべき。訪問に行けない企業には電話対応する。卒業後も企業や卒業生と連絡をとり、離職した場合はどういう理由で辞めたのかを訊く。また、離職しないようなアドバイスもあたえる。

(5) 学生支援

評価概要	評定	評価
① 学生に対する経済的な支援体制は確立されているか	3.83	奨学金、学費免除、保護者支援、早期割、研修費負担等、支援体制を多様にとっており、比較的充実したサポートを確立している。
② 学生対応に係る人員配置は行われているか	1.86	事務職に関しては職員が増え、データ管理等を以前より手厚く行えるようになった。少人数ではあるが、常勤、非常勤を含め親身に対応するよう心掛けている。
③ 就職に対する支援体制は整えられているか	2.71	キャリア担当を設け、企業とのパイプ役として支援する体制を確立しつつある。授業や個別対応の中で、教職員がそれぞれに動くのではなく、情報交換や共有、相談を行い教職員全体で連携してよりよい支援を行っていけるよう努めていく必要がある。

【課題】

- ・常勤講師、担任の不足。

【改善案】

- ・就職に関して、日本人留学生問わず、情報収集に努めるとともに情報共有の仕方や協力体制を見直し、改善する。

【特記事項】

- ・経済的支援は、比較的充実している。

(6) 教育環境

評価概要	評定	評価
① インターンシップ及び校外（学外）授業について、各業界との協力体制が整っているか	3.83	校外授業は企業と連絡、連携をとり、積極的に増やした。インターンシップに関しては、企業との事前・事後の連絡もより密に行い、お互いに協力する体制をさらに整える必要がある。
② 防災に関して、定期的に避難訓練を実施し、安全体制が確立されているか	3.14	防災担当者を新たに設け、避難訓練や防災マニュアルの用意など安全体制の確立に努めている。資料配布や掲示など、意識を高めるよう日頃からさらに呼びかけていく必要がある。
③ 施設整備は教育上の必要性に対し、十分に整備されているか	2.83	古い備品の更新といった課題も残るが、備品購入や、設備に関しては実際の現場を見学や使用することで徐々に補っている。設備点検や修善に関しては日頃から定期的に行っている。

【課題】

- ・引き続き、インターンシップの開拓、方法や期間の検討は必要。理想と現実のギャップを少しでも埋め、現場を経験することで即戦力になれるよう、インターンシップの充実を図る。
- ・古い備品の更新（特に着付け室の衣装やアクセサリ）
- ・留学生の就職への取り組みが遅いため意識づけや、旅館やホテルへの理解を深めるために留学生のインターンシップがもっと充実できればよいと思う。

【改善案】

- ・企業とさらなる協力体制を築く。学生には可能な限りアルバイト先にブライダル・ホテル業界を薦める。

【特記事項】

- ・インターンシップを長期で引き受けてくださる企業様が増えて、大変助かっている。長期のインターンに適應できる学生を育成していく必要がある。

(7) 学生募集

評価概要	評定	評価
① 学生募集に対し、広報活動・ガイダンス参加・SNS発信・オープンキャンパス等、適切な活動が行われているか	3.83	一通りの広報活動を行っており、充実した発信内容を目指している。一方、現状維持のみでなくさらに発信していくことを目指すことや、留学生の学生募集に関してはさらなる策を講じる必要がある。
② 在校生、卒業生から後輩への呼びかけを促進しているか	3.29	在校生から後輩への呼び掛けや、卒業生の紹介で入学した学生もいる。コロナ前のように今後は広報活動に在校生も交えて学校の魅力を発信していきたい。
③ 学費は適正か	3.83	適正。減免や支援制度を加味すれば比較的安い。

【課題】

- ・学生募集について、広報担当が主となって情報共有を行い、職員、在校生、卒業生とどのように進めていくのか話し合う。学校全体として取り組めるよう、協力体制を整える。

【改善案】

- ・SNSの活用（TikTokなど高校生に流行のコンテンツと取り入れる）
- ・留学生に対して、学生募集の策を考える場を設ける。

(8) 財務

評価概要	評定	評価
① 健全な学校運営を行うための適正な予算管理と、適正な予算執行を行い、検証しているか	3.29	消耗品や必要備品はコストパフォーマンスを意識して選び、昨年度の予算を確認しながら適正に執行するように心がけている。年間の予算を事前に把握し、現場実習等に充てる予算を検討する場をさらに設けたい。
② 経費の無駄を省くための指針は定められているか	3.50	教職員一人一人が無駄のないように日頃から意識している。さらに無駄を省けるものがないか常に検証していく。
③ 会計監査は適切に行われているか	3.50	税理士と経理担当で会計監査を行っている。監査報告書もホームページに掲載している。

【課題】

- ・教職員全員が予算に対して関わり、検証する場を設ける。指針については明確に記載する。
- ・空調設備の使用ルール等に関しては、教職員や学生で定期的にルールを再確認する。

【特記事項】

- ・引き続き、無駄な経費を省くために、節電など、身近にできることをしっかり行う。

(9) 法令等の遵守

評価概要	評定	評価
① 交通事故、犯罪及び犯罪巻き込まれ、その他近隣の住民に対して、迷惑をかけないなどの周知は定期的に行われているか	3.43	定期的に警察から訓示を行ってもらう等、警察との連携をとっている。終業式等においても、学生へ都度呼び掛けを行っている。
② 個人情報の保護が適正に行われているか	3.50	これまでに特に問題は起きていないが、SNS等の使用も多いため、個人情報の取り扱いには今後も注意していく。
③ 就業規則は、全教職員に周知徹底されているか	3.14	周知徹底には改善の余地がある。徹底を目指し、再確認も含めて見直す必要がある。

【課題】

- ・法令について考える機会の見直し。意識づけ。
- ・学生が交通事故等に遭った場合の対応方法をマニュアル化し、夜中や休日に事故に遭った場合にある程度は自力で対応できるような体制を整える。教職員の手続き方法についてもスムーズに迅速に行えるようマニュアル化を考える。

【改善案】

- ・時間外労働を減らすよう、さらなる効率化を図る。

【特記事項】

- ・個人情報の管理を、更に徹底。USBの持ち出し禁止。誰でも、個人情報を見ることができないようなシステムを設置している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価概要	評定	評価
① ボランティア活動、大分駅南口周辺の清掃活動は定期的に行われているか	3.43	定期的に清掃活動を学生と教職員で行っている。一方、学生や教職員がプライベート等で自発的にも活動しているかどうかまでは把握できていない。
② 地域の方との交流は行われているか	2.57	コロナ禍により本来よりも交流の場が減った。今後は地域の方や外部からのお客様をお呼びして、学校イベント等を行っていききたい。留学生と日本人との交流の場も作りたい。
③ ハローワーク等と連携して、職業訓練などのキャリア教育を積極的に実施しているか	2.71	依頼があった場合には積極的に実施している。市の国際キャリア対策等とももっと連携をとり、キャリア教育などにも役立てたい。

【課題】

- ・地域の方との交流の機会について、計画をたてる場を作るべき。
- ・他機関とのつながりを増やす。

【改善案】

- ・コロナ収束後は、国際祭りなどに、地域の方を招いて、国際の存在を更にアピールしたい。また、ボランティア活動として、地域の清掃活動の機会を増やしていきたい。